

関連イベント 月間

1か月の定常的な管理業務でKY-Toolを活用ができます

■ 1か月の安全・品質管理業務

月一回

週1回

日	月	火	水	木	金	土
3/26	27	28	29	30	31	4/1
2	3 特別朝礼	4	5	6	7 KYトレーニング	8
9	10	11	12	13 安全自主パトロール (現場)	14 KYトレーニング	15
16	17	18	19	20 安全パトロール (支店)	21 KYトレーニング	22
23	24	25	26 教育	27 災害・不適合防止協議会	28 KYトレーニング	29

■ 各安全管理業務の概要

※日々行う作業/安全指示準備、KY活動は省略

業務名	実施者	KY-Tool 活用方法
特別朝礼	工事長・職員	当月・翌月の工事に関連した事例を題材にし、安全・品質の注意喚起を行う
自主パトロール(現場/支店)	工事長・職員	巡回時に指摘の題材となる災害事例を検索し、過去事例を提示しながら指導教育をする
教育	職員・職長	当月・翌月の工事に関連した事例を題材にし、安全・品質の注意喚起を行う
災害・不適合防止協議会	工事長・職員	翌月の工事関連したリスクアセスメント(リスクや対策の洗い出し)で活用する
KYトレーニング	職員・職長	事例の絵を活用しながら、職長や作業員でトレーニングを行う

当月・翌月の工事に関連した事例を題材にし、注意喚起を行う

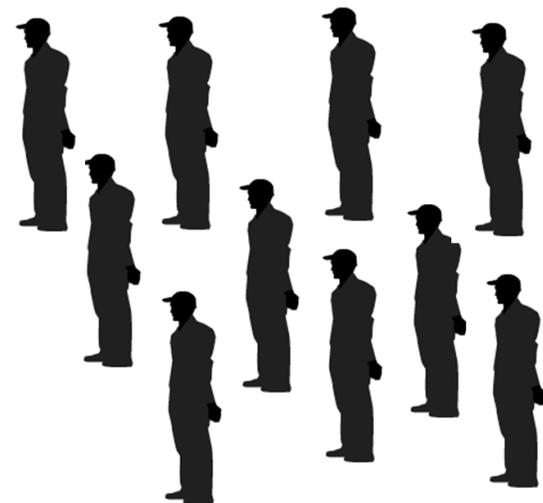
災害事例の概略情報



今月の主な工事は○○ですが、過去に■ ■の事故が起きています。要因は××で対策の◆ ◆を徹底しましょう！



災害事例を題材とし、大型ディスプレイで投影しながら周知・教育



職員

職長・作業員

翌月の工事関連したリスクアセスメント(リスクや対策の洗い出し)で活用する

■ 災害・不適合防止協議会資料(当月の反省と翌月の工程から見た対策)

工種・作業	リスク	リスク評価		対策
		可能性	重大性	
足場工 高所での受け渡し	高所から転落する	3	3	墜落防止策を実施してから、 足場架設する手順を遵守する
打吹付法砕工 吹付	吹付時ホースが裂けて廃棄エアが ガンマンに当たる	1	2	施工中にガンマンにホースを点 検させる
打吹付法砕工 アンカー打設	アンカー打設作業時、移動中に ハンマードリルに巻き込まれる	2	1	施工中、作業員にハンマードリ ルの電源を切らせる

①「工種・作業」からKY-Toolで検索

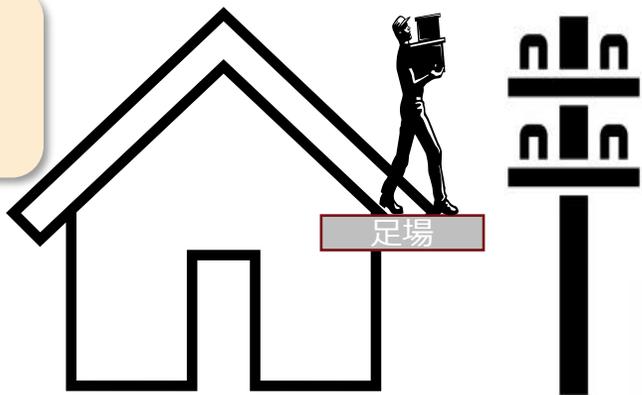
②「予想される危険」や「安全衛生対策」を洗い出し

運用イメージ パトロール

巡回時に指摘の題材となる災害・不適合事例を検索し、
過去事例を提示しながら指導教育をする

■巡回時

周囲への安全対策を
しっかりせずに、足場の
解体作業をしている..



工事長・職員



① 指摘時の題材となる
災害事例を検索

■是正指導

事例概略表示画面

パイプ足場の解体中にパイプを
鉄道の信号線に接触させ感電



感電

死亡

工事長・職員

② 過去事例を提示しながら、
指導・教育

悲惨な事故
につながっ
たんだな...

作業員

運用イメージ KYトレーニング

災害事例を題材として
当日の作業に置き換えながらリスクと対策を洗い出す

■ KYトレーニング

KYシート(安全指示用)

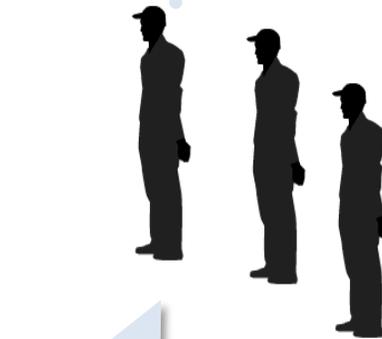
拡大



① 図・写真の紹介

職長 (協力会社)

自分の作業に置き換えると
このリスクがありそうだな..



② リスクと対策の議論

作業員

■ KYトレーニング後

KYシート(管理用)



③ 自身の作業に置き換え
リスクや対策を洗い出す

関連イベント 週間

日々の朝礼の中で、現場の安全/品質にまつわる教育をしていく

■ 活用シーン-コンテンツ活用の週間予定

週	月	火	水	木	金
第1週/3週	安全指示 災害事例	作業指示 品質事例	安全指示 安全教育資料	作業指示 品質教育資料	KYTトレーニング 災害事例
第2週/4週	作業指示 品質事例	安全指示 災害事例	作業指示 品質教育資料	安全指示 安全教育資料	品質トレーニング 災害事例

短時間で具体的なリスク・対策を
作業者に伝える

時間をかけ具体的なリスク・対策
を**作業者に考えさせる**

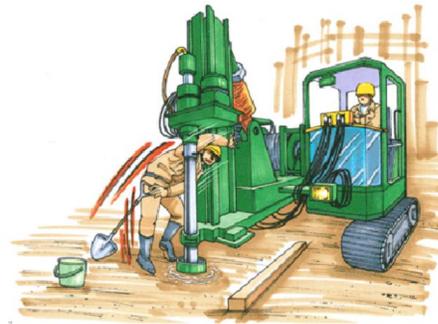
「安全/作業指示」での事例活用イメージ

作業員に事例の「概略or詳細」情報を見せ、 短時間で具体的なリスク・対策を作業者に伝える

パターン1：
状況のみを伝え、当日の作業に
関連した要因や対策を考えさせる

概略情報

地盤改良作業で掘削部分から溢れ出る排液の回収作業中に、ロッドに巻き込まれる



土木工事業 不明
はさまれ、巻き込まれ 死亡 死亡者数:1

パターン2：
状況や要因/対策まで
読み込ませ、深く理解させる

詳細情報

地盤改良作業で掘削部分から溢れ出る排液の回収作業中に、ロッドに巻き込まれる



土木工事業 不明
はさまれ、巻き込まれ 死亡 死亡者数:1

○発生状況

この災害は、新幹線のトンネル付近の地盤改良工事において発生したものである。工事は、リースした3台の地盤改良機を使用して新幹線のトンネルから出たところの線路内に地盤改良のための杭を打設するものであった。作業手順としては、地盤改良機の減速機の軸に中空軸のロッドをピンで接続し、あらかじめ地面に挿入してある「さや管」の中を、リーダーに沿って動力部を降ろしながらロッドを回転させて先端部のビットで掘削した後、先端から薬液を注入して地盤を改良するものである。この工事の時間帯は深夜に限定されているが、災害発生当日、被災者は回転しているロッドから数10cm離れたところで、掘削と薬液注入に伴って掘削部から溢れ出てくる排液と混じった排土をスコップでバケツに回収する作業に従事していた。午前1時頃、3号機において地盤改良機の減速機とロッドの接続部が回転しながら約1mの高さまで下がってきた時に、ロッドの接続部に8cm飛び出ている太さ8mmの鋼製の接続ピンが被災者の着衣の左肩付近に引っかかり、着衣とともに被災者の上半身が地盤改良機のリーダーとロッドとの間に巻き込まれ、頸椎骨折で死亡した。

○リスク

- 減速機の軸とロッドを接続するピンが埋頭(まいとう)型でなかったこと減速機の軸とロッドを接続するピンは、当初埋頭(まいとう)型のものであったが、作業効率を重視して、工事の途中からボルト型のものに取り替えられていたため、これに着衣が巻き込まれたものである。
- 地盤改良機の死角で作業を行っていたこと被災者は、回転軸に対して少しずつ右回りしながら作業を行っていたため、被災時には地盤改良機の運転者からは見えない位置になっていて、災害が発生したことも知らずに作業を続けていた。

パターン1 or 2



職員
職長



作業員

「KY/品質トレーニング」での事例活用イメージ

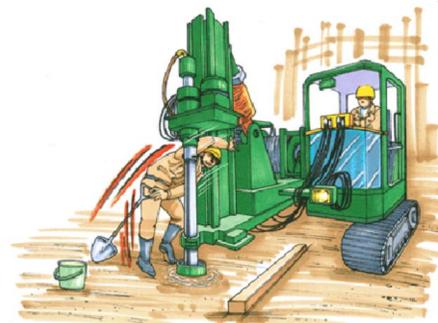
事例の「概略or画像」情報を見せ、
時間をかけ具体的なリスク・対策を**作業者に考えさせる**

パターン1：
概略情報のみを伝え、
関連した要因や対策を考えさせる

パターン2：
絵のみを見せ、
発生しうる事故自体を考えさせる

概略情報

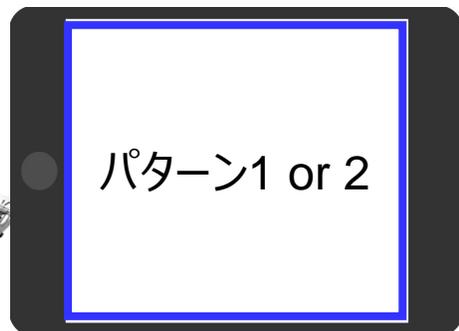
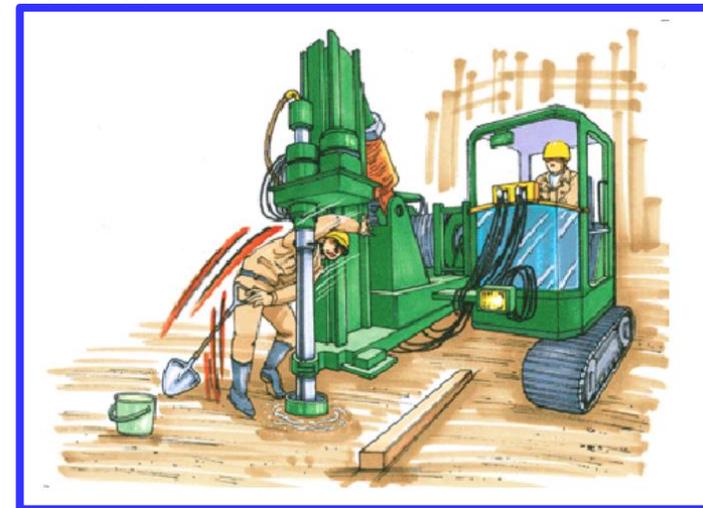
地盤改良作業で掘削部分から溢れ出る排液の回収作業中に、ロッドに巻き込まれる



土木事業
はさまれ、巻き込まれ

不明
死亡 死亡者数:1

詳細情報



職員
職長

作業員